

2006年度（平成18年度）第2回常務理事会記録

日 時：2006年（平成18年）3月28日（火）12:30～14:00

場 所：北里大学相模原キャンパス L3号館 401号室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、金子ひとみ（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2006年（平成18年）度第1回常務理事会記録、同摘録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

（1） 会員異動報告（正会員 2,156名 平成18年2月28日現在）

平成18年1月分（入会者 正会員 26名、学生 32名、退会者 正会員 14名、学生 4名）

平成18年2月分（入会者 正会員 1名、学生 5名、退会者 正会員 9名）

逝去会員 大森忠雄氏（福岡歯科大学名誉教授／名誉会員、平成18年3月13日逝去、享年79歳）、佐藤 充氏（秋田大学医学部助教授／正会員、平成18年3月2日逝去、享年56歳）

（2） 年会費納入状況（長期未納者の除名について）

3月28日現在で4年未納 54名、3年未納 108名であり、4年未納者については本年度の総会・全国学術集会において掲示後、除名の措置をとることが確認された。

（3） 学会宛文書等

① 通知・依頼 20ヶ所より20件の依頼・通知が届いている。

② 書籍、定期通信他 1ヶ所より1件の定期通信が届いている。

（4） 週刊誌掲載記事

週刊ポスト2006年3月31日号に医学生に対するインタビュー記事が掲載された。内容はかなり興味本位のものであり、解剖に関する問題ある発言が掲載された。この件については所属大学において事実関係を調査中である。

（5） その他

① 「人体の不思議展」に関する問い合わせ

岐阜新聞より標記に関する問い合わせがあり、解剖学会としては過去後援したことはないという事実のみを連絡した旨の報告があった。

② 曾爾教育委員会委員長よりの答申

教育委員会に依頼した人体解剖実習の必要性、およびホルマリン対策に関する

答申について、報告がおこなわれた。

③ 学術会議分野別委員会立ち上げについて

形態学のボトムアップのため、形態科学・細胞生物医科学委員会を立ち上げる旨の報告があった。内容的には従来の研連機能を引き継ぐ形でおこなうとのことである。(この項のみ、廣川理事長よりの報告)

2. 編集報告 (柴田編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌及び ASI 刊行報告

両誌の刊行状況につき報告がおこなわれた。なお解剖誌については今後、特集を中心とする編集方針でいくこと、ASI については第 81 巻 1 号から Current Contents (Anatomy & Morphology) に掲載され、Impact Factor 計測の対象となるので引用を積極的におこなって頂きたいこと、2006 年 4 月よりオンライン投稿システムを導入することなどが報告された。

(2) その他

解剖誌編集長につき塩田教授に引き続きお願いしたいとの報告があった。

3. 企画・渉外報告 (河田企画・渉外担当理事)

(1) 第 111 回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

標記につき報告がおこなわれた。

(2) その他

① 第 73 回日本医学会定例評議員会報告

i) 会長・副会長選挙結果：会長として高久史磨氏、副会長として岸本忠三、久道 茂、出月康夫の 3 氏が選出された。

ii) 第 28 回日本医学会総会：2011 年開催の標記総会は国立病院機構理事長矢崎会頭のもと、東京で開催される。

② 平成 17 年度日本医学会分科会用語委員会報告

標記委員会が開催され、医学用語の標準化を目指し、「日本医学会医学用語辞典」の改訂に関する方針が示された。なお、坂井建雄解剖学会用語委員長もこの委員会の委員の中に入っている。

③ 第 5 回アジア太平洋解剖学会議 (APICA) について

2008 年の第 5 回 APICA 開催国に関し、最終決着はついていないが、イランになる可能性が高いことが報告された。

III. 審議事項

1. 平成 17 年度決算および業務監査報告

平成 17 年度決算書及び業務監査報告書が提示され、承認された。

2. 平成 18 年度予算

標記予算案が提出され、審議の結果了承された。

3. 平成 18 年度総会・学術評議員会資料および議事進行の確認

標記につき確認がおこなわれた。

4. 第 113 回、第 114 回総会、全国学術集会開催校について

第 113 回については 2 大学から、第 114 回については 1 大学から応募があり、理事会に諮られることになった。